

問&答

一般質問

問 災害に強いまちづくりを

答 安全・安心なまちを

構築する

松井 南 議員

問 私たちは、地震の恐さを知っています。ただでなく日頃からどのような生活をし、瞬時にどのような判断と、どのような対応をすべきか常に身につけなければなりません。

それでは順次伺います。平時での震災への備えにどう対応すべきか、宍粟市の防災マニュアルは作成されていますか、初期活動はどうあるべきか、緊急時の対応とは、防災意識の高揚に関する対策について問う。

市長 先ず平時での震災への備えとして、自主防災組織では地震災害を想定した総合防災訓練の実施で避難訓練や初期消火訓練、

情報伝達訓練等に取り組んでいます。次に、宍粟市の防災マニュアルは現在防災に関する市の指針となる地域防災計画の策定作業を進めている。次に、初期活動とは、先ず身の安全の確保、救出活動や避難活動と考えます。避難誘導等は予め役割分担を決めておく必要があると考えます。次に、緊急時の対応ですが、地域防災計画に基づき応急対策も図ります。次に、防災意識の高揚には9月1日の防災の日を中心とした防災訓練の実施、市広報等で啓発に努めています。

市長 の震災への備えとして、自主防災組織では地震災害を想定した総合防災訓練の実施で避難訓練や初期消火訓練、

問 大型ゴミ処理施設建設の枠組み

答 姫路市と折衝中

岸本 義明 議員

問 2千5百万円の予算で8中学校に外国人指導助手（ALT）5名が配属されているがその効果は、費用対効果を考えもっと高いレベルの会話力を。

教育長 全中学校にALTの配属を検討中。特に話す力を充実させる。

問 全国で多くの教師が「指導力不足」と認定された。一方で団魂世代の教師の退職で、希望者「全入時代」がくると言われている。採用時の資質評価と採用後の研修について。

教育長 県教委が面接するが、資質の見極めに苦慮している。採用後は市が新設

した教育研修所で資質向上の研修をさせる。

問 11町で計画中の大型ゴミ処理施設について、合併により枠組みが変わった。姫路市とたつの市は大型ゴミ処理施設をしており、もし安富町と新宮町の分を引き受けない場合、1市2町となり、建設費用110億円と毎年の運営費は市にとって大変な負担となる。現在の対応は。

市長 町の分担金は出せない」という姫路市の意向が安富町より伝えられた。たつの市も追隨する恐れがあるので県も交えて姫路市と折衝中であります。

問 国見の森公園の宣伝をせよ

答 県と協議してPRする

伊藤 一郎 議員

問 国見の森公園の内容を見れば、多くの観客がみこまれる。計画線が引いてある上北地からテクノへの道の開通も大切だ。

車と救急車が行けるということです。3メートル幅での整備を認めるべきです。

土木部長 市道認定について、うえ市長が認めれば3メートル幅を認めます。

伊藤 一郎 議員 では特別な理由があり、検討のうえ市長が認めれます。

市長 ホームページやパンフレットなどで公園のPRしていく。県とも協力して宣伝に努めたい。また道路についても、重要路線として県に要望していきます。

伊藤 一郎 議員 たつの市も追隨して、この基準で整備されたいい道が多くあります。3メートルの道路幅があれば、なんとか消防

問 市道について 市道基準4メートルとなつています。しかし、宍粟市内は、この基準で整備されていらない道が多くあります。3メートルの道路幅があれば、なんとか消防

伊藤 一郎 議員 会に、お願いして来ました。教育研修所にて、自生生物調査化しています。小学校の理科の先生方に、お願ひは出来ませんか。

伊藤 一郎 議員 生物調査会に、お願いして来ました。教育研修所にて、自生生物調査化しています。小学校の理科の先生方に、お願ひは出来ませんか。

伊藤 一郎 議員 会に、お願いして来ました。教育研修所にて、自生生物調査化しています。小学校の理科の先生方に、お願ひは出来ませんか。